

## BIM-Dr.D (Doctor D)機能説明

Dr.D は高速かつフレキシブルなディスク・ユーティリティ・システムである。現在最も早い保存（バックアップ）及びリストア機能を持っている。

非常に融通性のあるパッケージとして、Dr.D は以下のような状況でユーザーの必要性を満足させることが出来る：

- スタンドアローン / VM リストアでの災害復旧用バックアップ
- ディスク圧縮
- ライブラリ保存と再編成
- 異なるディスク・タイプへのファイルやライブラリの変換
- VSAM / ISAM / PSAM の保存と再編成
- テスト用ファイルの作成
- VSAM listcat, ファイル定義, ファイル削除と検証
- テープ・コピーとテープ・テスト
- ディスク・マネージャー・プールの再編成・デフラグ
- ディスク・マネージャー・プールの保存・リストア

Dr.D は広範な保存、リストア、コピーにおいて特に高速で威力を発揮する。

保存：保存用テープあるいはディスク・ファイルに全てのボリューム、VSAM カタログ、論理ディスク・ファイル（VSAM / 非 VSAM）あるいは VSE ライブラリの保存が出来る

リストア：保存用テープあるいはディスク・ファイルから全てのボリューム、VSAM カタログ、論理ディスク・ファイル（VSAM / 非 VSAM）あるいは VSE ライブラリのリストアが出来る

コピー：ディスクからディスクへ全てのボリューム、VSAM カタログ、論理ディスク・ファイル（VSAM / 非 VSAM）あるいは VSE ライブラリのコピーが出来る

ディスク・ユーティリティの中で最も必要性のある三つの要素： ディスク・ボリューム、データ・ファイル、ライブラリを処理する。その他多くの機能を持つ。

ボリューム：ディスク全体あるいは特定の部分の保存、リストア、コピーが出来る。保存

テープに IPL レコードを作製できるので、後からスタンドアローン或いは VM 下でテープの IPL やリストアが出来る。リストアやコピーされたものは同じ位置に、同じサイズでリストア・コピーする必要が無く、さらに保存されたエクステントと同じタイプやモデルのディスク上にある必要もない。

データ・ファイル：論理ディスク・ファイル全体を保存、リストア、コピーできる。これらのファイルは VSAM, ダイレクト・アクセス、順次或いは索引付き順次ファイルなどで、一つ以上のディスク・ボリューム上にある複数の全体あるいは分割シリンダー・エクステントから成り、ユーザー・ラベルを持っている場合もある。最大限の融通性を持たせるために、保存或いはコピーされたファイルは同じディスクの場所にリストアする必要は無いし、同じサイズの必要も無く、同じ数のエクステントを持っている必要もない。さらに保存されたファイルと同じタイプのディスク上にある必要もない。DA ファイルは SD として、リストアやコピーができその逆も可である。VSAM や ISAM ファイルはリストアやコピーされると自動的に再編成される。

ライブラリ：全ての VSE ライブラリが保存、リストア、コピーできる。リストアやコピーされたライブラリは同じ位置に、同じサイズでリストア・コピーする必要が無く、さらに保存されたエクステントと同じタイプやモデルのディスク上にある必要もない。システム・ライブラリはプライベート・ライブラリとしてリストアやコピーができ、その逆も可である。ライブラリはその内容を既に存在するライブラリに追加するという方法でリストアすることが出来る。ライブラリがシステムかプライベートかは関係ない。全てのライブラリはリストア・コピーされると自動的に圧縮される。

その他：Dr.D は次のようなことも出来る：

- VTOC の位置変更やサイズ変更
- VM ミニディスクの作成
- ディスクのクリア - 全ボリュームあるいは一部
- VTOC(format-1) ラベル・エントリーの作成・削除
- VTOC(format-1) ラベル・エントリーの作成、期限、最終アクセス日の変更
- オプションのカスタマイゼーションによる VTOC リスティング作成
- 既存の VTOC(format-1) ラベル・エントリーに基づく DLBL や EXTENT ステートメントのパンチ
- オプションのカスタマイゼーションによる LISTCAT リスティングの作成
- 既存の VSAM カタログ・エントリーに基づく IDCAMS DELETE や DEFINE コントロール・ステートメントのパンチ
- 論理或いは物理テープ・コピー機能